

# 三井住友・国債プラス ファンド(毎月分配型)

【愛称:円の達人】

【運用報告書(全体版)】

第21作成期 (2021年6月22日から2021年12月20日まで)

第 **120** 期 / 第 **121** 期 / 第 **122** 期  
決算日2021年7月20日 決算日2021年8月20日 決算日2021年9月21日

第 **123** 期 / 第 **124** 期 / 第 **125** 期  
決算日2021年10月20日 決算日2021年11月22日 決算日2021年12月20日

## ■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／債券
信託期間	無期限 (設定日: 2011年8月5日)
運用方針	主に日本国債および高格付けの海外の国債等に投資を行い、安定的な利子等収益の確保と中長期的な信託財産の成長を目指します。
主要投資対象	日本国債および高格付けの海外の国債等
当ファンドの運用方法	<ul style="list-style-type: none"><li>■日本国債に加え、組入時においてA格以上の格付けを取得している海外の国債等にも投資を行い、金利収入の獲得を目指します。</li><li>■海外の国債等については、対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクを低減します。</li><li>■日本国債と海外の国債等の組入比率は、それぞれの金利水準や金融政策の方向性等を勘案し決定します。</li><li>■残存期間が最長30年程度までの債券への投資金額が、各残存期間毎にはほぼ同程度となるように運用を行います。(ラダー型運用)</li></ul>
組入制限	■外貨建資産への投資割合は、信託財産の純資産総額の50%以下とします。
分配方針	<ul style="list-style-type: none"><li>■毎月20日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、分配を行います。</li><li>■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益(評価損益を含みません。)等の範囲内とします。</li><li>■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。</li></ul> ※委託会社の判断により分配を行わない場合もある為、将来の分配金の支払い及びその金額について保証するものではありません。

## 受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは主に日本国債および高格付けの海外の国債等に投資を行い、安定的な利子等収益の確保と中長期的な信託財産の成長を目指します。当作成期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。



三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1  
<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ  
お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976  
受付時間: 午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

## 三井住友・国債プラスファンド（毎月分配型）【愛称：円の達人】

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

### ■最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			公 社 債 組入比率	純 資 産 総 額
	(分配落)	税 込 分配金	期 中 騰落率		
	円	円	%	%	百万円
96期(2019年7月22日)	10,343	21	△0.3	98.3	830
97期(2019年8月20日)	10,572	21	2.4	98.3	890
98期(2019年9月20日)	10,383	21	△1.6	99.0	886
99期(2019年10月21日)	10,250	21	△1.1	100.5	907
100期(2019年11月20日)	10,197	21	△0.3	99.0	932
101期(2019年12月20日)	10,083	21	△0.9	98.8	958
102期(2020年1月20日)	10,053	21	△0.1	98.9	1,002
103期(2020年2月20日)	10,229	21	2.0	97.9	1,102
104期(2020年3月23日)	10,037	21	△1.7	98.5	1,084
105期(2020年4月20日)	9,993	21	△0.2	97.7	1,092
106期(2020年5月20日)	9,970	21	△0.0	99.4	1,113
107期(2020年6月22日)	9,910	21	△0.4	97.1	1,146
108期(2020年7月20日)	9,851	21	△0.4	98.6	1,163
109期(2020年8月20日)	9,828	21	△0.0	98.9	1,165
110期(2020年9月23日)	9,848	21	0.4	96.7	1,120
111期(2020年10月20日)	9,853	21	0.3	97.0	1,070
112期(2020年11月20日)	9,806	21	△0.3	98.5	1,006
113期(2020年12月21日)	9,748	21	△0.4	98.9	969
114期(2021年1月20日)	9,668	21	△0.6	98.6	962
115期(2021年2月22日)	9,508	21	△1.4	98.9	908
116期(2021年3月22日)	9,466	21	△0.2	97.9	867
117期(2021年4月20日)	9,493	21	0.5	98.1	897
118期(2021年5月20日)	9,455	21	△0.2	98.2	866
119期(2021年6月21日)	9,486	21	0.5	97.4	874
120期(2021年7月20日)	9,611	21	1.5	97.3	881
121期(2021年8月20日)	9,611	21	0.2	96.9	876
122期(2021年9月21日)	9,516	21	△0.8	97.0	758
123期(2021年10月20日)	9,328	21	△1.8	99.5	748
124期(2021年11月22日)	9,286	21	△0.2	97.9	735
125期(2021年12月20日)	9,335	21	0.8	98.2	739

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移

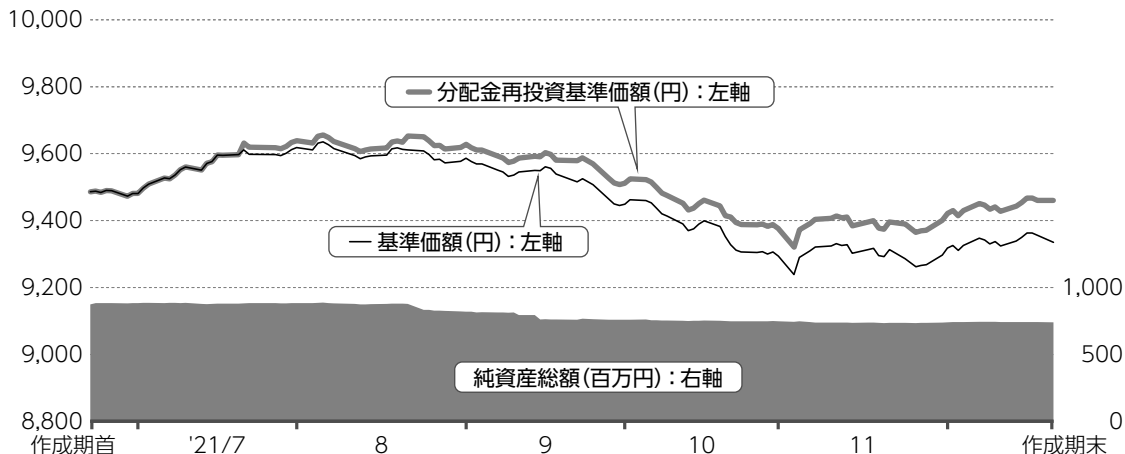
決算期	年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 組入比率
			騰落率	
第120期	(期 首) 2021年6月21日	円 9,486	% —	% 97.4
	6月末	9,481	△0.1	97.3
	(期 末) 2021年7月20日	9,632	1.5	97.3
第121期	(期 首) 2021年7月20日	9,611	—	97.3
	7月末	9,618	0.1	97.3
	(期 末) 2021年8月20日	9,632	0.2	96.9
第122期	(期 首) 2021年8月20日	9,611	—	96.9
	8月末	9,586	△0.3	97.8
	(期 末) 2021年9月21日	9,537	△0.8	97.0
第123期	(期 首) 2021年9月21日	9,516	—	97.0
	9月末	9,449	△0.7	97.5
	(期 末) 2021年10月20日	9,349	△1.8	99.5
第124期	(期 首) 2021年10月20日	9,328	—	99.5
	10月末	9,294	△0.4	98.5
	(期 末) 2021年11月22日	9,307	△0.2	97.9
第125期	(期 首) 2021年11月22日	9,286	—	97.9
	11月末	9,318	0.3	96.9
	(期 末) 2021年12月20日	9,356	0.8	98.2

※期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

# 1 運用経過

基準価額等の推移について（2021年6月22日から2021年12月20日まで）

## 基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、作成期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

作成期首	9,486円
作成期末	9,335円 (当作成期既払分配金126円(税引前))
騰落率	-0.3% (分配金再投資ベース)

## 分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

### 基準価額の主な変動要因（2021年6月22日から2021年12月20日まで）

当ファンドは、主として日本国債および高格付けの海外の国債等に投資を行いました。外貨建資産については、原則、対円での為替ヘッジを行いました。

#### 上昇要因

- 11月から期末にかけて、新たな変異ウイルス(オミクロン型)の感染拡大による景気への悪影響が懸念され、日本国債利回りおよびオーストラリア国債利回りが低下(債券価格は上昇)したこと

#### 下落要因

- 9月の自民党総裁選に向け、新政権に対する政策期待の高まりを背景とする株価上昇を受け、日本国債利回りが上昇(債券価格は下落)したこと
- 米国で早期利上げなど金融緩和縮小への警戒から、9月から10月にかけて、オーストラリア国債利回りが上昇したこと

投資環境について（2021年6月22日から2021年12月20日まで）

日本およびオーストラリアの長期国債利回り（10年国債利回り）は、概ね横ばいとなりました。

## 国内債券

新型コロナウイルス（デルタ型）の感染拡大などから、期初から8月にかけて、長期国債利回り（10年国債利回り）は緩やかに低下基調を辿りました。

9月に支持率が低迷していた菅首相が退陣を表明し、新政権に対する政策期待の高まりから株価が上昇したことを受け、利回りは上昇に転じました。また、世界的なインフレ懸念の強まりを背景に、中央銀行による利上げが早まるとの思惑から海外国債利回りが上昇したことも、利回り上昇要因となりました。

11月には政策金利の引き上げが見込まれていた英国で、BOE（イングランド銀行）が予想外に金利を据え置いたことや、新たな変異ウイルス（オミクロン型）の感染拡大懸念が強まったことから、期末にかけて利回りは低下しました。

## 外国債券

新型コロナウイルス（デルタ型）の感染拡大などから、期初から8月にかけて、オーストラリア国債利回り（10年国債利回り）は低下基調を辿りました。

9月のFOMC（米連邦公開市場委員会）で、政策金利予想の引き上げや早期のテーパリング（量的緩和の段階的縮小）の可能性が示され、米国債利回り（10年国債利回り）が上昇したことを受け、オーストラリア国債利回りも上昇しました。

11月にはBOEが予想外に政策金利を据え置いたことや、新たな変異ウイルス（オミクロン型）の感染拡大懸念が強まったことから、期末にかけて利回りは低下しました。

一方、10月の利回り上昇時に、残存期間3年程度の国債利回りがRBA（オーストラリア準備銀行）が設定していた誘導目標水準を大きく超えたにもかかわらず、RBAは利回りの上昇抑制を見送り、11月の理事会では残存3年程度の国債利回りの誘導目標を撤廃したことから、短中期国債の利回りは期初と比べ大幅な上昇となりました。

## ポートフォリオについて（2021年6月22日から2021年12月20日まで）

## ●国別配分

期初より、為替ヘッジ後の利回りが相対的に高い海外の国債の組入れを45～50%程度に維持し、日本国債の組入れを50～55%程度としました。海外の国債については、為替ヘッジ後の利回りを考慮し、オーストラリア国債の組入れを維持しました。

## ●格付け別配分

海外の国債等の組入れにあたっては、取得時においてAA格以上の格付けが付与された

債券としました。

## ●残存期間別配分

国内外合わせ、残存期間が約30年程度までの債券を、残存構成がラダー型(各年限をほぼ均等な割合で保有)となるよう運用を行いました。

## ●為替ヘッジ

外貨建資産については、原則、対円での為替ヘッジを行いました。

## ベンチマークとの差異について（2021年6月22日から2021年12月20日まで）

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

## 分配金について（2021年6月22日から2021年12月20日まで）

期間の1万口当たりの分配金(税引前)は、基準価額水準等を勘案し、以下の通りといたしました。なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

(単位：円、1万口当たり、税引前)

項目	第120期	第121期	第122期	第123期	第124期	第125期
当期分配金	21	21	21	21	21	21
(対基準価額比率)	(0.22%)	(0.22%)	(0.22%)	(0.22%)	(0.23%)	(0.22%)
当期の収益	14	11	11	11	11	13
当期の収益以外	7	10	9	9	9	7
翌期繰越分配対象額	1,605	1,596	1,587	1,577	1,568	1,561

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

## 2 今後の運用方針

新たな変異ウイルスの感染拡大が一時的に景気を押し下げる可能性が高いものの、ワクチン接種の進展や経済対策の効果、外需の持ち直しにより、景気の先行きは回復基調となる見通しです。CPIコア（生鮮食品除く消費者物価指数）の前年比伸び率は、徐々にプラス幅を拡大する見込みですが、2%の物価安定目標の達成が見込める状況は想定していません。世界的なインフレ懸念が金利上昇材料となる一方で、新たな変異ウイルスの感染拡大を受け、海外中銀による金融緩和策の縮小が後ずれするとの見方が金利低下材料となり、国内金利は方向感が定まりにくい見通しです。日銀の金融政策は当面変更が見込まれず、イールドカーブコントロール（長短金利操作）が続くことから、長期金利は日銀が明確化した $0\pm 0.25\%$ のレンジ内でプラス圏での推移

を想定します。

米国では、当面変異ウイルスの感染拡大が警戒されますが、景気の回復や金融政策の正常化を背景に、利回りは緩やかに水準を切り上げていく見通しです。オーストラリアでも景気は回復基調ですが、RBAはインフレが持続的に目標に収まるまでは利上げをしないと表明しており、当面緩和的な金融政策が維持される見込みです。

上記の見通しの下、為替ヘッジ後の利回りが日本国債利回りに比べ相対的に高い状況が続く可能性が高く、海外の国債等への投資を継続する方針です。

なお、海外の国債等の組入れにあたっては、取得時においてAA格以上の格付けが付与された債券とし、原則、対円での為替ヘッジを行います。

## 3 お知らせ

### 約款変更について

該当事項はございません。



1万口当たりの費用明細（2021年6月22日から2021年12月20日まで）

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	25円	0.262%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数) 期中の平均基準価額は9,459円です。
（投信会社）	(10)	(0.109)	投信会社：ファンド運用の指図等の対価
（販売会社）	(13)	(0.137)	販売会社：交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(2)	(0.016)	受託会社：ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	－	－	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
（株式）	(－)	(－)	売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（先物・オプション）	(－)	(－)	
（投資信託証券）	(－)	(－)	
(c) 有価証券取引税	－	－	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
（株式）	(－)	(－)	有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（公社債）	(－)	(－)	
（投資信託証券）	(－)	(－)	
(d) その他費用	3	0.029	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(2)	(0.026)	保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(0)	(0.002)	監査費用：監査法人に支払うファンドの監査費用
（その他）	(0)	(0.001)	その他：信託事務の処理等に要するその他費用
合計	28	0.291	

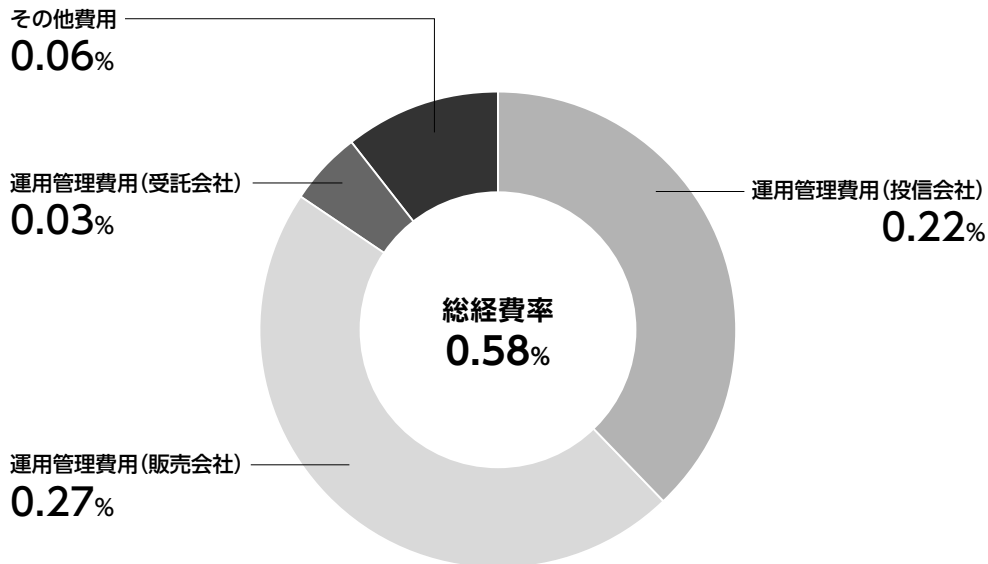
※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。



## 参考情報 総経費率(年率換算)



※各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

※各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。

※上記の前提条件で算出しているため、「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率換算)は0.58%です。

■ 当作成期中の売買及び取引の状況(2021年6月22日から2021年12月20日まで)

公社債

		当 作 成 期	
		買 付 額	売 付 額
国	内 国 債 証 券	千円 10,230	千円 81,694
外 国	オーストラリア 国 債 証 券	千オーストラリア・ドル 299	千オーストラリア・ドル 786

※金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)  
※管理上の都合により、一部の銘柄において属性が変わっている場合があります。

■ 利害関係人との取引状況等(2021年6月22日から2021年12月20日まで)

当作成期中における利害関係人との取引等はありません。  
※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況  
(2021年6月22日から2021年12月20日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細(2021年12月20日現在)

公社債

A 債券種類別開示

(A)国内(邦貨建)公社債

区 分	作 成 期 末						
	額 面 金 額	評 価 額	組入比率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
国 債 証 券	千円 335,000 (96,000)	千円 378,400 (94,289)	% 51.1 (12.7)	% — (—)	% 51.1 (12.7)	% — (—)	% — (—)
合 計	335,000 (96,000)	378,400 (94,289)	51.1 (12.7)	— (—)	51.1 (12.7)	— (—)	— (—)

※( )内は非上場債で内書きです。  
※組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。  
※管理上の都合により、一部の銘柄において属性が変わっている場合があります。

三井住友・国債プラスファンド（毎月分配型）【愛称：円の達人】

(B)外国(外貨建)公社債

区 分	作 成 期 末							
	額 面 金 額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
オーストラリア	千オーストラリア・ドル 3,940	千オーストラリア・ドル 4,301	千円 348,090	% 47.0	% -	% 30.3	% 10.0	% 6.7
合 計	-	-	348,090	47.0	-	30.3	10.0	6.7

※邦貨換算金額は、作成期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

※管理上の都合により、一部の銘柄において属性が変わっている場合があります。

B 個別銘柄開示

(A)国内(邦貨建)公社債

種 類	銘 柄	作 成 期 末			
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償還年月日
		%	千円	千円	
国 債 証 券	148 20年国債	1.5000	20,000	23,274	2034/03/20
	156 20年国債	0.4000	23,000	23,555	2036/03/20
	28 30年国債	2.5000	18,000	24,227	2038/03/20
	168 20年国債	0.4000	24,000	24,195	2039/03/20
	32 30年国債	2.3000	18,000	24,039	2040/03/20
	34 30年国債	2.2000	18,000	23,874	2041/03/20
	36 30年国債	2.0000	18,000	23,371	2042/03/20
	38 30年国債	1.8000	19,000	24,090	2043/03/20
	42 30年国債	1.7000	19,000	23,826	2044/03/20
	46 30年国債	1.5000	19,000	23,100	2045/03/20
	50 30年国債	0.8000	22,000	23,326	2046/03/20
	54 30年国債	0.8000	22,000	23,244	2047/03/20
	58 30年国債	0.8000	23,000	24,179	2048/03/20
	62 30年国債	0.5000	24,000	23,274	2049/03/20
	66 30年国債	0.4000	25,000	23,508	2050/03/20
	70 30年国債	0.7000	23,000	23,311	2051/03/20
	小 計	-	335,000	378,400	-
	合 計	-	335,000	378,400	-

※管理上の都合により、一部の銘柄において属性が変わっている場合があります。

三井住友・国債プラスファンド（毎月分配型）【愛称：円の達人】

(B)外国(外貨建)公社債

区 分	銘 柄	種 類	作 成 期 末				償還年月日
			利 率	額面金額	評 価 額		
					外貨建金額	邦貨換算金額	
			%	千オーストラリア・ドル	千オーストラリア・ドル	千円	
オーストラリア	AUSTRALIAN GOVERNMENT	国債証券	5.7500	290	299	24,224	2022/07/15
	AUSTRALIAN GOVERNMENT	国債証券	5.5000	290	309	25,059	2023/04/21
	AUSTRALIAN GOVERNMENT	国債証券	4.7500	260	304	24,669	2027/04/21
	AUSTRALIAN GOVERNMENT	国債証券	2.7500	290	303	24,593	2024/04/21
	AUSTRALIAN GOVERNMENT	国債証券	3.2500	270	302	24,514	2029/04/21
	AUSTRALIAN GOVERNMENT	国債証券	4.5000	240	311	25,192	2033/04/21
	AUSTRALIAN GOVERNMENT	国債証券	3.2500	290	309	25,078	2025/04/21
	AUSTRALIAN GOVERNMENT	国債証券	4.2500	270	303	24,553	2026/04/21
	AUSTRALIAN GOVERNMENT	国債証券	3.7500	250	310	25,141	2037/04/21
	AUSTRALIAN GOVERNMENT	国債証券	2.7500	280	312	25,279	2035/06/21
	AUSTRALIAN GOVERNMENT	国債証券	2.2500	290	304	24,609	2028/05/21
	AUSTRALIAN GOVERNMENT	国債証券	2.5000	290	311	25,238	2030/05/21
	AUSTRALIAN GOVERNMENT	国債証券	1.5000	310	307	24,914	2031/06/21
	AUSTRALIAN GOVERNMENT	国債証券	1.2500	320	309	25,019	2032/05/21
	小 計			3,940	4,301	348,090	—
	合 計			—	—	348,090	—

※邦貨換算金額は、作成期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

※管理上の都合により、一部の銘柄において属性が変わっている場合があります。

■ 投資信託財産の構成

(2021年12月20日現在)

項 目	作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 726,490	% 97.8
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	16,176	2.2
投 資 信 託 財 産 総 額	742,667	100.0

※作成期末における外貨建資産(350,432千円)の投資信託財産総額(742,667千円)に対する比率は47.2%です。

※外貨建資産は、作成期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは、1オーストラリア・ドル=80.93円です。

## ■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2021年7月20日) (2021年8月20日) (2021年9月21日) (2021年10月20日) (2021年11月22日) (2021年12月20日)

項目	第120期末	第121期末	第122期末	第123期末	第124期末	第125期末
<b>(A) 資産</b>	<b>1,288,291,957円</b>	<b>1,280,302,565円</b>	<b>1,114,905,712円</b>	<b>1,119,524,056円</b>	<b>1,081,558,703円</b>	<b>1,091,186,052円</b>
コール・ローン等	12,340,031	14,367,102	12,027,921	10,887,269	11,346,450	12,718,881
公社債(評価額)	857,943,990	849,637,026	736,035,059	744,970,021	720,164,910	726,490,564
未収入金	414,098,555	411,032,151	362,942,479	358,193,490	347,037,767	348,518,866
未収利息	3,741,469	5,083,759	3,782,885	5,276,663	2,873,449	3,256,614
前払費用	119,285	118,429	36,979	100,558	25,951	75,912
その他未収収益	48,627	64,098	80,389	96,055	110,176	125,215
<b>(B) 負債</b>	<b>406,780,385</b>	<b>403,547,027</b>	<b>356,133,615</b>	<b>371,180,371</b>	<b>346,233,431</b>	<b>351,198,012</b>
未払金	404,390,607	397,761,197	353,730,500	369,080,178	344,180,694	348,865,809
未払収益分配金	1,926,020	1,915,635	1,674,500	1,684,679	1,662,870	1,664,600
未払解約金	89,771	3,470,866	349,829	94,650	31,864	364,555
未払信託報酬	370,093	395,007	374,738	317,568	354,277	299,922
未払利息	28	37	-	-	-	-
その他未払費用	3,866	4,285	4,048	3,296	3,726	3,126
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>881,511,572</b>	<b>876,755,538</b>	<b>758,772,097</b>	<b>748,343,685</b>	<b>735,325,272</b>	<b>739,988,040</b>
元本	917,152,667	912,207,296	797,381,322	802,228,168	791,842,993	792,666,764
次期繰越損益金	△ 35,641,095	△ 35,451,758	△ 38,609,225	△ 53,884,483	△ 56,517,721	△ 52,678,724
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>917,152,667口</b>	<b>912,207,296口</b>	<b>797,381,322口</b>	<b>802,228,168口</b>	<b>791,842,993口</b>	<b>792,666,764口</b>
1万口当たり基準価額(C/D)	<b>9,611円</b>	<b>9,611円</b>	<b>9,516円</b>	<b>9,328円</b>	<b>9,286円</b>	<b>9,335円</b>

※当作成期における作成期首元本額921,709,800円、作成期中追加設定元本額61,195,475円、作成期中一部解約元本額190,238,511円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

## ■ 損益の状況

(自2021年6月22日) (自2021年7月21日) (自2021年8月21日) (自2021年9月22日) (自2021年10月21日) (自2021年11月23日)  
 至2021年7月20日 至2021年8月20日 至2021年9月21日 至2021年10月20日 至2021年11月22日 至2021年12月20日

項 目	第120期	第121期	第122期	第123期	第124期	第125期
(A) 配 当 等 取 益	1,333,491円	1,397,753円	1,319,243円	1,236,828円	1,325,068円	1,122,410円
受 取 利 息	1,318,393	1,383,719	1,306,659	1,221,802	1,311,942	1,107,996
そ の 他 取 益 金	16,049	14,827	13,028	15,519	13,909	14,981
支 払 利 息	△ 951	△ 793	△ 444	△ 493	△ 783	△ 567
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	12,486,958	919,218	△ 6,844,293	△ 14,228,342	△ 2,589,638	4,799,670
売 買 損 益	33,556,449	21,023,338	15,079,423	27,893,439	14,811,907	14,899,643
売 買 損 益	△ 21,069,491	△ 20,104,120	△ 21,923,716	△ 42,121,781	△ 17,401,545	△ 10,099,973
(C) 信 託 報 酬 等	△ 464,536	△ 399,295	△ 400,804	△ 320,921	△ 390,715	△ 371,128
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	13,355,913	1,917,676	△ 5,925,854	△ 13,312,435	△ 1,655,285	5,550,952
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 53,566,849	△ 40,779,618	△ 34,582,722	△ 41,346,397	△ 54,345,454	△ 56,582,374
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	6,495,861	5,325,819	3,573,851	2,459,028	1,145,888	17,298
(配当等相当額)	( 147,535,519)	( 146,110,977)	( 126,927,437)	( 127,349,827)	( 124,945,616)	( 124,347,582)
(売買損益相当額)	(△141,039,658)	(△140,785,158)	(△123,353,586)	(△124,890,799)	(△123,799,728)	(△124,330,284)
(G) 合 計 ( D + E + F )	△ 33,715,075	△ 33,536,123	△ 36,934,725	△ 52,199,804	△ 54,854,851	△ 51,014,124
(H) 取 益 分 配 金	△ 1,926,020	△ 1,915,635	△ 1,674,500	△ 1,684,679	△ 1,662,870	△ 1,664,600
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	△ 35,641,095	△ 35,451,758	△ 38,609,225	△ 53,884,483	△ 56,517,721	△ 52,678,724
追 加 信 託 差 損 益 金	5,853,854	4,413,612	3,223,542	1,690,256	417,371	△ 595,221
(配当等相当額)	( 146,893,512)	( 145,198,770)	( 126,577,128)	( 126,581,055)	( 124,217,099)	( 123,735,063)
(分買損益相当額)	(△141,039,658)	(△140,785,158)	(△123,353,586)	(△124,890,799)	(△123,799,728)	(△124,330,284)
分 配 準 備 積 立 金	319,813	467,733	—	—	—	—
繰 越 損 益 金	△ 41,814,762	△ 40,333,103	△ 41,832,767	△ 55,574,739	△ 56,935,092	△ 52,083,503

※有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

※株式投信の信託報酬等には消費税等相当額が含まれており、公社債投信には内訳の一部に消費税等相当額が含まれています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※分配金の計算過程は以下の通りです。

	第120期	第121期	第122期	第123期	第124期	第125期
(a) 経費控除後の配当等収益	1,288,663円	1,156,858円	918,439円	915,907円	934,353円	1,052,081円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	—	—	—	—	—	—
(c) 収益調整金	147,535,519	146,110,977	126,927,437	127,349,827	124,945,616	124,347,582
(d) 分配準備積立金	315,163	314,303	405,752	—	—	—
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	149,139,345	147,582,138	128,251,628	128,265,734	125,879,969	125,399,663
1万口当たり当期分配対象額	1,626.10	1,617.84	1,608.41	1,598.87	1,589.71	1,582.00
(f) 分配金	1,926,020	1,915,635	1,674,500	1,684,679	1,662,870	1,664,600
1万口当たり分配金	21	21	21	21	21	21

## ■ 分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税引前)	第120期	第121期	第122期	第123期	第124期	第125期
	21円	21円	21円	21円	21円	21円

※分配金は、分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額「普通分配金」となり課税されます。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は下回る部分が「元本戻戻金(特別分配金)」となり非課税、残りの部分が「普通分配金」となります。

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。